

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 30 年 3 月 22 日

計画の名称	1 北部九州地域における広域的な観光活性化										
計画の期間	平成22年度 - 平成26年度 (5年間)				交付対象	佐賀県(福岡県、大分県、熊本県と連携)					
計画の目標	九州新幹線(H23.3全線開業予定)、東九州自動車道(苅田北九州空港IC~行橋IC H25年度完成目標:行橋IC~宇佐IC H26年度完成目標)及び西九州自動車道(唐津IC~北波多IC H23年度完成目標)の開通を契機に、今後、本州方面からの観光客が増大するとともに、九州内での移動効率性も高まり、北部九州地域(佐賀県、福岡県、大分県、熊本県)での観光活性化のポテンシャルが高まると期待される。 また、アジア地域からの観光客が増加傾向にあることも視野に入れ、北部九州地域における交通拠点(新幹線新駅・高速道路IC・空港・港湾等)と景勝地や滞在型観光施設である温泉街などの観光施設との相互アクセス性の向上など、広域的な観光活性化に向けた関連基盤を整備することにより、九州北部地域の活性化を図る。										
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 九州北部地域(佐賀県、福岡県、大分県、熊本県)の延べ宿泊者数を1,965.1万人(H21)から2,033.2万人(H26)に増加 佐賀県内の延べ宿泊者数を191.3万人(H21)をH26まで現状維持 										
定量的指標の定義及び考え方				定量的指標の現況値及び目標値			備考				
			当初現況値 (H21)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)		H21	H26			
九州北部地域(佐賀県、福岡県、大分県、熊本県)の延べ宿泊者数 (九州北部地域内の延べ宿泊者数の増加率) = (評価時点の延べ宿泊者数 - H21の延べ宿泊者数) / (H21の延べ宿泊者数)			1,965.1万人	2,006.0万人 (2.1%増)	2,033.2万人 (3.5%増)	福岡県	865.3万人	908.6万人			
佐賀県内の延べ宿泊者数 (佐賀県内の延べ宿泊者数の増加率) = (評価時点の延べ宿泊者数 - H21の延べ宿泊者数) / (H21の延べ宿泊者数)			191.3万人	191.3万人 (現状維持)	191.3万人 (現状維持)	佐賀県	191.3万人	191.3万人	大分県	412.7万人	412.7万人
						熊本県	495.8万人	520.6万人			
拠点施設・重点地区	<p>【拠点施設】主要観光施設(別紙1参照)、道の駅(別紙1参照)、九州新幹線新駅、特定重要港湾(博多港・北九州港)、重要港湾(伊万里港・唐津港・苅田港・三池港・中津港・別府港・大分港・津久見港・佐伯港・熊本港・三角港・八代港)、空港(九州佐賀国際空港(旧称:有明佐賀空港)・福岡空港・新北九州空港・大分空港・阿蘇くまもと空港)</p>										
関係県との連携の内容、進め方	<p>(連携内容)九州新幹線関連事業、観光客誘致事業・新鳥栖駅開業関連事業、都市圏観光誘客促進事業 (進め方)関係各県(佐賀県・福岡県・大分県・熊本県)の担当者が集まる会議(平成22年3月 設置)等を活用し、定期的に各県の取り組み状況に関する情報交換や今後の方針等について検討を加える</p>										
全体事業費	合計 (A + B + C)	2,378.0 百万円	A	2,102.3 百万円	B	0 百万円	C	275.7 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	11.6%	
事後評価の実施体制、実施時期											
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期					
佐賀県 (複数県が連携・協力して取り組む広域連携事業であるが、交付決定単位が各県ごとであり、定量的指標の設定も各県ごとに異なることから、県単独で事後評価を実施)						平成30年4月					
						公表の方法					
						県ホームページにて公表					
1. 交付対象事業の進捗状況											
交付対象事業											
事業概要											
整備方針						整備方針に合致する主な事業					
拠点施設へのアクセス時間を短縮させ、周遊効率性を高める						(基) 交差点改良 1 箇所、道路拡幅 6 箇所、B P 整備 2 箇所、道路整備 1 箇所					
拠点施設やそのアクセスルートの快適性・安全性を高め、災害や事故等によるリスクを低下						(基) 道路の舗装補修 1 箇所、自歩道設置 3 箇所、道路法面補修 1 箇所					
拠点施設と一体となって、観光地としての魅力を高める						(効) 拠点施設アクセス支援事業、公園環境整備 1 箇所、港湾環境整備 3 箇所					
基幹事業と一体となってその効果を一層高める広報活動、調査を展開する						(効) 観光客誘致事業、新鳥栖駅開業関連事業					

(参考) 交付対象事業に関連して実施される主な事業

東九州自動車道(苅田北九州空港IC~宇佐IC間) : (事業主体:西日本高速道路(株)、苅田北九州空港IC~行橋IC 平成25年度完成目標:行橋IC~宇佐IC 平成26年度完成目標)
 東九州自動車道(佐伯IC~宮崎県境間) : (事業主体:国土交通省九州地方整備局、蒲江IC~北浦IC:平成24年度供用予定)
 西九州自動車道(福岡前原道路)・福岡都市高速道路(5号線)の連結 : (事業主体:福岡北九州高速道路公社・国土交通省九州地方整備局、平成22年度開通予定)
 西九州自動車道(唐津IC~北波多IC間) : (事業主体:国土交通省九州地方整備局、平成23年度開通予定)
 九州新幹線(博多駅~新八代駅間) : (事業主体:鉄道運輸機構、平成23年3月全線開業予定)

A1 広域連携事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26				
1-A1-1	港湾	内地	佐賀県	直接	-	地方	改良	呼子港	道路・物揚場補修 L=87.1m	唐津市						109.0		
1-A1-2	港湾	内地	佐賀県	直接	-	重要	改良	伊万里港	道路路面補修L=111.0m	伊万里市						5.0		
1-A1-4	道路	一般	佐賀県	直接	-	県道	改築	(主) 厳木富士線(市川工区)	現道拡幅 L=0.2km	佐賀市						94.1		
1-A1-6	道路	一般	佐賀県	直接	-	県道	交安	(一) 若宮鶴線(鶴工区)	交差点改良 L=0.1km	神埼市						116.8		
1-A1-7	道路	一般	佐賀県	直接	-	国道	交安	(国) 204号(浦工区)	歩道整備 L=0.1km	唐津市						19.1		
1-A1-8	道路	一般	佐賀県	直接	-	国道	交安	(国) 444号(鹿江工区)	自歩道整備 L=0.2km	佐賀市						2.0		
1-A1-13	街路	一般	佐賀県	直接	-	S街路	改築	八谷搦駅前線	現道拡幅 L=0.28km	伊万里市						133.0		
1-A1-14	街路	一般	佐賀県	直接	-	S街路	改築	泉山大谷線	バイパス L=0.13km	有田町						90.9		
1-A1-15	街路	一般	佐賀県	直接	-	S街路	改築	内町迎田線	現道拡幅 L=0.24km	武雄市						190.0		
1-A1-16	道路	一般	佐賀県	直接	-	県道	改築	(一) 三瀬栗並線(古場工区)	現道拡幅 L=1.0km	佐賀市						588.3		
1-A1-17	道路	一般	佐賀県	直接	-	県道	改築	(一) 大木有田線(大木工区)	バイパス L=0.5km	有田町						161.8		
1-A1-18	道路	一般	佐賀県	直接	-	県道	改築	(一) 八幡岳公園線(東田代工区)	現道拡幅 L=0.4km	伊万里市						99.4		
1-A1-19	道路	一般	佐賀県	直接	-	県道	改築	(一) 黒川松島線(脇田2工区)	現道拡幅 L=0.3km	伊万里市						63.0		
1-A1-20	道路	一般	佐賀県	直接	-	県道	交安	(一) 波佐見塩田線(大草野工区)	歩道整備 L=0.8km	嬉野市						365.4		
1-A1-21	港湾	内地	佐賀県	直接	-	重要	建設	唐津港	道路整備 L=0.1km	唐津市						64.5		
小計(広域連携事業)																2,102.300		
合計																	2,102.300	

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26				
合計																	0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26				
1-C-2	活動支援	一般	佐賀県	間接	協議会	-	観光客誘致事業	観光客誘致の実証実験	佐賀市							20.9		
1-C-3	活動支援	一般	佐賀県	間接	協議会	-	新鳥栖駅開業関連事業	新鳥栖駅開業影響調査等	鳥栖市							47.3		
1-C-4	基盤整備	一般	佐賀県	直接	佐賀県	-	公園利用環境向上事業	周辺整備A=1,250㎡、照明・防犯対策1式、A'リアフリー化1式	佐賀市							21.9		
1-C-5	活動支援	一般	佐賀県	直接	佐賀県	修繕	唐津港 人工海浜利用促進対策事業	海浜整地A=6ha	唐津市							10.0		
1-C-6	活動支援	一般	佐賀県	直接	佐賀県	修繕	伊万里港 人工海浜利用促進対策事業	海浜整地A=4ha	伊万里市							16.2		
1-C-7	活動支援	一般	佐賀県	直接	佐賀県	修繕	大浦港 人工海浜利用促進対策事業	海浜整地A=0.7ha	太良町							13.0		
1-C-8	活動支援	一般	佐賀県	直接	佐賀県	新設	拠点施設アクセス支援事業	施設案内表示 36箇所	佐賀市、大川市							19.1		
1-C-9	活動支援	一般	佐賀県	直接	佐賀県	-	地域観光資源啓発事業	景観行政の推進事業	県内全域							8.4		
1-C-10	活動支援	一般	佐賀県	直接	佐賀県	-	地域財産保全のための顕彰	「22世紀に残す佐賀県遺産」認定	県内全域							4.0		
1-C-11	活動支援	一般	佐賀県	直接	佐賀県	-	地域財産保全支援	景観に配慮した屋外広告物の指導	県内全域							29.9		
1-C-12	活動支援	一般	佐賀県	間接	県観光連盟	-	観光客誘致拡大対策事業	観光活性化のため、観光宣伝等の事業	県内全域							82.7		
1-C-13	活動支援	一般	佐賀県	直接	佐賀県	-	観光客誘致拡大対策事業(直営)	観光活性化のため、観光宣伝等の事業	県内全域							1.7		
1-C-14	活動支援	一般	佐賀県	直接	佐賀県	-	地域観光資源推進計画づくり事業	景観形成に関する取組に対する支援	県内全域							0.6		
合計																	275.700	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-2	観光客の利便性を高めるための実証実験を行い、満足度の増大を図る。	
1-C-3	新鳥栖駅開業に伴う利用促進事業と影響調査の実施等により、観光活性化を図る。	
1-C-4	公園の利用環境を向上させることにより、観光客(公園利用者)の満足度の増大を図る。	
1-C-5	人工海浜の環境を向上させることにより、観光客(海水浴客)の満足度の増大を図る。	
1-C-6	人工海浜の環境を向上させることにより、観光客(海水浴客)の満足度の増大を図る。	
1-C-7	人工海浜の環境を向上させることにより、観光客(海水浴客)の満足度の増大を図る。	
1-C-8	拠点施設へのアクセスを支援し、観光客の利便性を高め、満足度の増大を図る。	
1-C-9	美しい景観づくりが推進されることで、佐賀県ならではの景観が保全され、これを目指し観光客が訪れ、観光交流人口の拡大を図る。	
1-C-10	「佐賀県遺産」が誕生することで、地域の特色ある景観が保全され、これを目指し観光客が訪れ、観光交流人口の拡大を図る。	
1-C-11	屋外広告物指導等による地域財産を守ることで、観光地としての魅力を高め、観光客の満足度の増大を図る。	
1-C-12	観光情報の提供等により観光活性化を図るとともに、観光客の利便性を高め、満足度の増大を図る。	
1-C-13	電照広告の掲出当により、観光活性化を図る。	
1-C-14	市町の特徴に応じた景観づくりが推進されることで、佐賀県ならではの景観が保全され、これを目指し観光客が訪れ、交流人口拡大を図る。	

交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	・一般県道三瀬栗並線の現道拡幅をはじめとする道路(街路)整備 及び 唐津港の臨港道路整備をはじめとする港湾整備を行った結果、拠点施設へのアクセス性や安全性が向上したこと等により、観光地としての魅力を高め、観光活性化に寄与した。					
定量的指標の達成状況	九州北部地域 (佐賀県、福岡県、大分県、熊本県)の延べ宿泊者数	最終目標値	2,033.2万人 (3.5%増)	目標値と実績値に差が出た要因	効果的・効率的な事業展開により、目標値を上回ることができた。	
		最終実績値	3,371.4万人 (71.6%)			
	佐賀県内の延べ宿泊者数	最終目標値	191.3万人 (現状維持)	目標値と実績値に差が出た要因		観光誘客に向けた情報発信等の観光施策が推進されたこととあわせ、基幹事業及び効果促進事業の実施により県内の観光振興を支える基盤整備が促進されたことにより、目標値を上回ることができた。
		最終実績値	305.2万人 (59.5%)			
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						
3. 特記事項(今後の方針等)						
今後も引き続き、観光産業の持続的な発展を図るため、観光振興や地域活性化を支える社会資本整備の推進に取り組んでいく。						